

農林大学校の動き(R2年8月)

2020. 9. 24

島根県立農林大学校 (担当：農業教育部 三宅)

TEL:0854-85-7012 FAX:0854-85-7113

<https://www.pref.shimane.lg.jp/norindaigakko/>

◇◇農林大の学生達の日頃の活動状況、いろいろな行事などを簡単にご紹介します◇◇



○「しまねの農林業体験教員研修」を実施(8/4~5、8/18~19)

新規採用教員計 84 名が参加。株式会社おかずくらぶ岡代表による講演や各専攻に分かれての体験実習を行った。

実施後のアンケートでは、「島根の農林業の現状を知ることができた」「農林業についての専門的知識や技術、経営能力を培う場としてとても良い環境であることがわかった」などの感想があった。



○オープンキャンパスを開催(8/16、8/22、8/29、9/5)

コロナ禍で、感染防止対策を十分に講じて開催したオープンキャンパス『緑の学園』の参加者数は、延べ 56 名であった。(昨年比 85%)

アンケートでは、「入学したい」と答えた人(3 年生・社会人)は 44 名であった。(昨年 37 名)

学校長推薦入試の出願受付まで残り 1 か月を切り、オープンキャンパス参加者へのフォローアップを兼ね、県内の高等学校を再度訪問する予定。



○特別集中講義の開講式を開催(8/26)

今年度は一般農業者および農業従事見込み者から 32 名の応募があり、開講式には 7 名が参加した。今後、翌年 3 月までテーマ毎に順次講座を開講する。また、当日の講義は、新型コロナウイルス感染症対策のためにオンライン会議システムを使い、通常通り対面講義を受けるグループと、対面講義を投影して別室で受講するグループの 2 つに分かれて実施した。



○大田市と林業科学学生の意見交換会への参加(8/20)

市内への林業事業体就職を促進するため大田市が企画した意見交換会に、林業科の学生 19 人が参加した。学生は楯野市長及び大田市森林組合皆田代表理事組合長らと面談し、市内林業の現状や、林業振興策などの説明を受けた。その後のフリートークでは、居住地に求める希望や条件、定住支援策など、活発な意見交換がなされた。



○出雲市の王院山山頂付近で「架線集材研修」を実施(8/25)

林業科2年生は出雲市にある王院山山頂付近でスイングヤーダ・ハーベスタ・フォワーダを用いた架線集材研修を行った。これまで演習を重ねてきた飯南キャンパスではなく、大規模な現場における実践型の演習を行うことで、より安全性と採算性を意識しながらの架線集材と造材・運材が体験できた。

皆様のご意見、ご感想をお待ちしております！